

授業科目 身体障害作業療法評価学実習II

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	作業
桐 本 光、鈴 木 誠		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：G10】					
ヒトの運動についてバイオメカニクス，電気磁気生理学，運動生理学的手法により記録，解析を行う。					
【学習目標・行動目標：SB0】					
1. ヒトの運動時の主動作筋，拮抗筋を正確に列挙することができる。 2. ヒトの運動を動画ファイルに収め，詳細な分析を行うことができる。 3. ヒトの運動時の筋活動，関節角度変化，発揮トルク記録，解析することができる。 4. ヒトの運動時における身体応答について運動生理学的な指標を記録・解析し適切に評価できる。 5. 実験結果に沿って論理的な考察を行うことができる。 6. 専門書や文献から必要な情報を検索することができる。 7. 図表や動画ファイルを効果的に活用した発表を行うことができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション			1～7	講義（桐本）
2	日常生活動作の動作分析			1	実習（鈴木）
3	"			1	実習（鈴木）
4	"			1	実習（鈴木）
5	"			1	実習（鈴木）
6	"			1	実習（鈴木）
7	ヒトの運動時の筋活動，関節角度変化，発揮トルク記録，解析			3	実習（桐本）
8	"			3	実習（桐本）
9	"			3	実習（桐本）
10	ヒトの運動時における運動生理学的応答			4	実習（桐本）
11	"			4	実習（桐本）
12	"			4	実習（桐本）
13	実験結果の発表会			5～7	討議（桐本，鈴木）
14	"			5～7	討議（桐本，鈴木）
15	まとめ			1～7	講義（桐本，鈴木）
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	運動生理学の基礎と発展 改訂版		春日規克、竹倉宏明	フリースペース	2,500円
	これから学会発表する若者のために ポスターと口頭プレゼン技術		酒井聡樹	共立出版	2,700円
参考書					
その他の資料		プリント			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席		解剖学，生理学，運動学，身体障害作業療法評価学の単位をすべて習得していることが望ましい。			
発表内容		実験を行うにふさわしい服装で参加すること。			
期末試験		各自PCを持参すること。			